

第112号

ひこね市議会だより



平成21年度決算認定・平成22年度一般会計補正予算可決 荒神山自然の家の設置および管理に関する条例可決 など



写真は、彦根の歴史的景観
(河原三丁目界わい)

11月定例会のあらまし

11月定例会は、11月29日から12月15日までの17日間の会期で開催し、提出された議案審議のほか、個人からの質疑、一般質問を行いました。

今期定例会に提出された市長提出議案は30件で、いずれも原案のとおり可決・承認・認定・同意しました。また、議員提出議案は意見書案の2件で、いずれも原案のとおり可決しました。

9月定例会で継続審査となっていた平成21年度彦根市各会計歳入歳出決算については認定しました。

請願3件については、いずれも採択としました。

- 11月定例会の結果2~3
- 予算特別委員会・各常任委員会の審査状況 ..4
- 個人質問5~9
- ほかにもこんなことを質問しました9
- 議会改革特別委員会中間報告9
- 決算特別委員会審査報告10
- 議会運営委員会視察報告10
- 子ども議会を開催しました11
- 常任委員会視察報告12~13
- 議場コンサート開催14

11月定例会

予算関係 = いずれも承認・可決

件名	概要
専決処分につき承認を求めることについて (平成22年度(2010年度)彦根市一般会計補正予算(第4号)) = 承認	補正予算額: 1,156万4千円 新型インフルエンザ予防接種費用の助成および費用助成にかかる事務経費の補正
平成22年度(2010年度)彦根市一般会計補正予算(第5号) = 可決	補正予算額: 7,199万2千円(減額) 職員の給与改定および人事異動等に伴う補正
平成22年度(2010年度)彦根市下水道事業特別会計補正予算(第2号) = 可決	補正予算額: 33万9千円(減額) 職員の給与改定および人事異動等に伴う補正
平成22年度(2010年度)彦根市介護保険事業特別会計補正予算(第2号) = 可決	補正予算額: 403万円(減額) 職員の給与改定および人事異動等に伴う補正
平成22年度(2010年度)彦根市水道事業会計補正予算(第1号) = 可決	補正予算額: 1,677万7千円(減額) 職員の給与改定および人事異動等に伴う補正
平成22年度(2010年度)彦根市一般会計補正予算(第6号) = 可決	補正予算額: 18億296万2千円 東中学校校舎等整備事業、生活扶助支給事業(扶助費)、障害福祉サービス等給付事業(扶助費)、中学校各所整備改修事業、予防接種事業、緊急経済対策住宅リフォーム促進事業補助金の増額補正など
平成22年度(2010年度)彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) = 可決	補正予算額: 2億1,463万円 高額療養費の補正
平成22年度(2010年度)彦根市下水道事業特別会計補正予算(第3号) = 可決	補正予算額: 322万9千円 排水設備工事完了検査員の再雇用に伴う賃金差額の補正
平成22年度(2010年度)彦根市介護保険事業特別会計補正予算(第3号) = 可決	補正予算額: 1,000万1千円 高額医療合算介護サービス費等の補正
平成22年度(2010年度)彦根市水道事業会計補正予算(第2号) = 可決	補正予算額…収益的支出: 248万5千円(減額) ボトルウォーター製造のための増額補正および起債借入額の減額等に伴う利子額の減額補正 補正予算額…資本的支出: 2億4,847万4千円 繰上償還を行うための企業債償還金の増額補正および入札差額等による工事請負費の減額補正

条例関係 = いずれも可決

件名	概要
彦根市荒神山自然の家の設置および管理に関する条例案	滋賀県立荒神山少年自然の家を平成23年4月1日付けで県から移管を受けることに伴い、新たに制定するもの
外国の地方公共団体の機関等に派遣される彦根市職員の処遇等に関する条例の一部を改正する条例案	国家公務員の国際機関等への派遣制度の改正に準じた所要の改正を行うもの
彦根市特別職の常勤職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例案	国の特別職の給与改定に準じた所要の改正を行うもの
彦根市教育委員会教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例案	国の特別職の給与改定に準じた所要の改正を行うもの
彦根市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	国家公務員の給与改定に準じ、給料表の改定等所要の改正を行うもの
彦根市消防に関する手数料条例の一部を改正する条例案	政令の改正に伴い、消防に関する手数料を政令の規定する標準額に引き下げるもの
彦根市火災予防条例の一部を改正する条例案	総務省令の改正に伴い、所要の改正を行うもの

決算関係 = いずれも認定

件名	概要
平成21年度(2009年度)彦根市各会計歳入歳出決算につき認定を求めることについて	歳入決算額: 622億6,660万7千円 歳出決算額: 612億7,719万3千円 実質収支額: 7億1,127万5千円
平成22年度(2010年度)琵琶湖東北部広域市町村圏協議会収支決算につき認定を求めることについて	琵琶湖東北部広域市町村圏協議会が平成22年9月30日をもって解散し、負担金残余額を負担比率に応じて配分

人事案件 = いずれも同意

件名	概要
彦根市監査委員の選任につき同意を求めることについて	内堀喜代治氏(甘呂町) = 再任

11月定例会の結果

件名	概要
彦根市功労者の表彰につき同意を求めることについて	北村 昌造氏（立花町）商工功労 箭野 三郎氏（稲部町）商工功労 山田 哲三氏（石寺町）農業功労 川嶋順次郎氏（小泉町）教育功労 若林 次郎氏（馬場一丁目）教育功労 朝尾 直弘氏（京都市）文化功労 宇野 茂樹氏（栗東市）文化功労 北川 公徹氏（小泉町）社会福祉功労 安澤 堅次氏（高宮町）保健衛生功労 藤田 秀樹氏（河原三丁目）消防功労 中村善一郎氏（高宮町）県議会議員功労 宇野たず子氏（松原町）市議会議員功労 杉本 君江氏（犬方町）市議会議員功労 故 久木 正勝氏（太堂町）市議会議員功労 桑原 留男氏（芹橋二丁目）固定資産評価審査委員功労 真野 宏之氏（薩摩町）教育委員功労

指定管理者制度に関するもの = いずれも可決

件名	概要
彦根市北老人福祉センターの指定管理者の指定につき議決を求めることについて	指定管理者：特定非営利活動法人 NPOぽぼハウス 指定期間：平成23年4月1日から平成28年3月31日まで
彦根市北デイサービスセンターの指定管理者の指定につき議決を求めることについて	指定管理者：社会福祉法人 彦根市社会福祉協議会 指定期間：平成23年4月1日から平成28年3月31日まで
彦根市南老人福祉センターおよび彦根市南デイサービスセンターの指定管理者の指定につき議決を求めることについて	指定管理者：社会福祉法人 彦根市社会福祉協議会 指定期間：平成23年4月1日から平成28年3月31日まで
彦根市佐和山デイサービスセンターの指定管理者の指定につき議決を求めることについて	指定管理者：医療法人 友仁会 指定期間：平成23年4月1日から平成28年3月31日まで

その他 = いずれも可決

件名	概要
愛荘町と締結した定住自立圏形成協定を変更することにつき議決を求めることについて	湖東定住自立圏の形成に関する協定に基づき連携して取り組む政策分野および内容ならびに役割分担を定める規定について変更を行うもの
豊郷町と締結した定住自立圏形成協定を変更することにつき議決を求めることについて	
甲良町と締結した定住自立圏形成協定を変更することにつき議決を求めることについて	
多賀町と締結した定住自立圏形成協定を変更することにつき議決を求めることについて	
住宅新築資金等貸付金の償還に係る権利の放棄につき議決を求めることについて	住宅新築資金等貸付金の償還に係る権利を放棄することについて、地方自治法第96条第1項第10号の規定により、議会の議決を求めるもの
町および字の区域および名称の変更につき議決を求めることについて	彦根市と愛知郡愛荘町との境界変更後における市内の町および字の区域および名称を変更するもの

報告

件名
損害賠償の額の決定について（3件）
市営住宅の管理上必要な訴えの提起について

議員提出議案（意見書案） = いずれも可決

件名
環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）交渉への参加に反対する意見書案
彦根西高校を含む彦根市内の県立高校の存続を求める意見書案

請願 = いずれも採択

件名
環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）交渉への参加に反対する請願
TPPの参加に反対する請願
滋賀県立彦根西高校の存続を求める請願

予算特別委員会 (11月29日・12月9日開催)

審査

(11月29日) 補正予算4件
 (12月9日) 補正予算6件

主な質疑

- ・教育総務費・事務局費の職員給与費・職員手当等の内容
- ・観光振興課職員2名増の理由 など
- ・(12月9日) 亀山小学校のアスベスト除去が今回になった理由
- ・消防本部の空調設備の配管および工事の内容
- ・住宅用太陽光発電システム設置補助の件数
- ・荒神山自然の家のパンフレット作成部数、開所記念式典の内容
- ・中学校図書室へのエアコン設置の考え方
- ・生涯学習推進事業の備品購入のねらい
- ・国民健康保険事業特別会計の内容、他市

の状況

- ・プレミアム商品券の使用可能対象商店および年内発行の実現性
- ・市政75周年記念ポトルウォーターの製造に關し、災害備蓄用としての商品化の考えおよび使用するひこにゃん商標の問題の有無
- ・福祉保健センター内の新たな相談室設置にかかる相談者への配慮
- ・子宮頸がん予防ワクチン等の接種事業の実施時期
- ・中小企業振興条例に基づくビバシティ彦根専門店街の支援についての考え など

採決結果

(11月29日) すべて原案のとおり可決
 (12月9日) すべて原案のとおり承認・可決

市民文教常任委員会 (12月10日開催)

審査

請願1件

採決結果

滋賀県立彦根西高校

の存続を求める請願について採択

福祉病院常任委員会 (12月10日開催)

審査

指定管理者の指定に係る議決案件4件
 主な質疑
 ・応募申請者数

選定にあたっての検証および配分点数
 ・指定管理料の算定内容
 ・5年の指定期間の是

採決結果

非など
 すべて原案のとおり可決

産業建設常任委員会 (12月13日開催)

審査

権利の放棄に係る議決案件1件および請願2件

採決結果

議案は、原案のとおり可決
 請願は、環太平洋戦

略的経済連携協定(TPP)交渉への参加に反対する請願およびTPPの参加に反対する請願について採択

総務常任委員会 (11月29日・12月13日開催)

審査

(11月29日) 条例改正3件
 (12月13日) 条例の制定および改正4件、定住自立圏形成協定の変更に係る議決案件等5件、協議会の収支決算に係る認定案件1件の合計10件

主な質疑

- ・(12月13日) 荒神山自然の家の設置および管理に関する条例において、やまのこ事業については無料にするべき
- ・自然の家の利用者の食材持ち込みに対する対応
- ・自然の家のリバーボ

採決結果

(11月29日) すべて原案のとおり可決
 (12月13日) すべて原案のとおり可決・認定

1ト使用料の考え方
 ・定住自立圏での具体的な有害鳥獣対策など

小川喜三郎

問 病院スタッフ確保は、医師は、大学やOB医師を通じて、また、病院の魅力をホームページで発信し、一方、看護師



徳永ひで子

問 補正予算に、子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチン接種への公費助成の予算が計上されている。子宮頸がんを予防する効果がある、子宮頸がんワクチン接種の取り組みと対象年齢、開始時期は。

市立病院の医師看護師確保と現状は



待遇改善や奨学金制度で確保に努力



答 病院スタッフ確保は、奨学金制度、看護体制7対1による労働環境の改善や院内保育所活用などで確保に努めている。病院の機能評価は、満点の評価は、連携機能の確保、患者家族の相談、ベッド・マットレスに配慮の3項目である。救急センターは、本年度上半期の救急車受入件数は、2183件、受入率は98.8%で救急医療は最も力を入れている。医師は翌日も勤務で非常勤医師を雇用し負担軽減に努めている。

子宮頸がんワクチン接種取り組みは



詳細が決まり次第速やかに実施する



が、12月中旬に都道府県を対象とした説明会を開催する予定であり、それを受けて決定したいと考えている。開始時期については、国の詳細が決まり次第、速やかに実施したいと考えている。



有馬 裕次

病院を核とした医療と介護の連携を



湖東区域リハビリ推進事業で整備を



「地域医療支援センター」の整備を病院診療所、関係機関と協議し検討中。リハビリ機能維持向上による介護予防や自立した在宅生活を促進することの実現可能な取組を。地域リハビリの課題や解決に向け連携強化を検討し事業として取組中。市立病院での認知症治療の入院は休止だが診断は継続中で今後診療連携を含めた行政の役割は。湖東域内行政と豊郷病院認知症疾患医療センターが中心となり検討中。



辻 真理子

問 薬品費の削減が、1億円を超えた理由は。

答 薬品費の削減については、ジェネリックへの切り替えに伴うものが、約4000万円、薬価交渉に伴うものが約3000万円、使用量の減少によるものが約3000万円、合計1億円を超える削減の成果があった。薬品費削減にかかる課題としては、薬品の在庫管理の適正化とそれに伴う棚

市立病院改革プランの成果と課題は



21年度の薬品費の削減は1億円以上



卸資産減耗費を少なくすることで、そのために本年度から物品管理業者に期限切れの薬品を点検させたうえ、期限切れの前までに薬品卸業者への返品をさせるなど、薬品費の削減につなげている。



**Q 小・中9年教育から
本市教育を問う**

問 東京世田谷では、教育ビジョンにより小中の9年間教育を一体と捉え責任を持ち、「世田谷9年教育」を実施された。区立用賀中と用賀小、京西小3校のパイロット校では、「ようがの学び舎」の名の下、多くの地域連携事業に取り組んで成果を上げている。本市の教育ビジョンは如何か。

答 生きる力を育むため「確かな学力を向上させ

田島 茂洋

る根っこの育成」など、3つの根っこの育成を教育指針に掲げている。さらに、基礎基本の徹底、幼小中の共通努力目標の設定、いじめ・不登校の課題解決など、8つの考動目標に取り組む。



A 教育ビジョン実現と生きる力の育み

**Q 荒神山古墳、今後の
基本構想を問う**

問 荒神山古墳の国史跡指定が遂に決定。彦根城跡等に続く3件目。古墳は大和政権に繋がる故に本市の歴史文化都市としての地位は一段とアップ。問題は今後にある。いか



▲国指定史跡になる荒神山古墳

夏川嘉一郎

にして神山崇拝や山の自然を損ねず、古墳の文化的存在を内外提示して行くのか。基本構想を問う。

答 近年、文化庁は古墳文化財等に対し歴史文化基本構想を提唱。要旨は文化財を単体視せず、周辺文化財や環境等を総合的に捉え整備保全を図る考え方。今後の方針は文化庁指針を反映する形で周辺文化遺構や自然等と共存連携の中、古墳保存管理計画を策定したい。

A 文化庁構想に沿い保存管理計画推進

**Q 親子方式による
中学校給食の実施を**



問 小学校の給食施設を利用して、近くの中学校へ給食を調理提供する親子方式により、一日も早く中学校給食実施に踏み

田中 滋康

出すべきである。未だに具体化されないで、先延ばしされている現状を打開するため、初期投資額が少ない親子方式での実施、少なくとも鳥中・鳥小間で給食実現を求める。

答 中学校給食は、財政負担の面から起債充当率90%、その内30%の交付税措置が見込まれる地域活性化事業債を活用して広域で取組み、センター方式での実施を考えている。このため、親子方式は二重投資になるので考えていない。

A 広域で取組み、センター方式を予定

**Q 彦根城博物館の
リニューアル計画を**

問 お客様の側に立ったディスプレイの改修、展示品に配慮した照明器具の改修が必要ではないか。

答 展示ケースの経年による劣化等が見られる。今後展示室設備を様々な視点から調査を進めたい。

問 お宝資料が保管されている収蔵室の温湿度管理は極めて大切である。空調設備の稼動状態は。

答 春と秋を除き24時間稼動により収蔵品の保存

八木 嘉之



▲彦根城博物館の展示の様子

管理に努めている。近年は毎年修理をしている。

問 リニューアルに向けた予算措置を講じるべきか。

答 専門的な観点から建物や設備の現況を十分把握する必要がある。現況の綿密な調査を実施する。

A 専門的な観点から現況調査を実施

杉本 君江



問 定住自立圏共生ビジョンの期間は、平成22年度から26年度までの5年間となっている。拠点図書館の整備についての時

虹のかけ橋となる拠点図書館整備を

広域利用の検討後の段階でと考える

答 現在、進めている図書館サービスの充実と多様なネットワークを継続しながら、今後利用しやすい図書館の整備といずれの図書館でも自由に本が借りることができる広域利用への取組を検討して行きたい。まずは、各図書館の連携を目指すもので拠点図書館は、その次の段階でと考えている。

馬場 和子

問 市長公約である中学校給食実施の政策としての優先順位を問う。

答 トップのうちのひとつ。実現の目処を問う。

問 財政的に優位な定住自立圏構想の中の地域活性化事業債を活用できる方向に持っていく、他町協議の中で実現させたい。

答 湖東定住自立圏内の他町への打診や協議は、資料も送り打診も協議も行っている。

広域での中学校給食実施の目処は？

早期実現に全力を注いで取り組む



問 広域的取組みを視野に今後どう実現するのか。

答 合意を得て共同事業として協定締結、共生ビジョンに位置付け、地域活性化事業債を活用して一町でも一緒にやれるよう早期実現に全力を注ぐ。

山田多津子



問 県の県立高校再編計画に対し各地域で守る会が発足し、当議会にも存続を願う請願が提出された。道理のない統廃合計

高校統廃合計画中止を県に求めよ

拙速な結論でなく周知説明を求める

答 各高校が果たす役割や機能、生徒の通学や地域に根ざした観点からも現状の高校教育が望ましいが、プロセスが重要であり、経過結果を踏まえ県に意見をあげていく。

北村 収

問 城北小体育館は昭和53年3月に移転したが、床はコンクリートになっており、成長盛りの児童や高齢者が使用した時に、足腰の関節に負担がかかる。スポーツ振興に大変影響が出ており、他校と同じ様に体育館床を早急にコンクリートからウッドフローリング張りに改善するべきと思うが。

答 城北小体育館の床は、コンクリートの表面にビ

城北小体育館床を木製に

改修する必要性は認識している



▲城北小学校体育館の床

ニール製シートを張ったもので、長年使用すると弾力性が低下し、足腰に負担がかかるとの声は聞いている。構造的な問題があるが、改修する必要性は認識しており検討していく。



稲枝駅舎改築と 周辺整備の進捗は

問 平成22年度は、基本設計の策定が計画されているが、現時点の進捗状況を問う。

答 平成21年度に策定した基本計画を愛荘町、豊郷町、稲枝まちづくり協議会等に説明し、J R西日本と協議を進め、基本設計に関する事項を検討している。

問 基本計画に対する地元等の要望への対応は、計画案に対する個々

西川 正義



▲ J R 稲枝駅

の地元要望を踏まえ、彦根市が設置管理することとなる自由通路の幅員やエレベーター・エスカレーター設置等の要望事項については、基本設計に反映するため、実現に向けて鋭意努力していく。



駅舎改築等の早期実現に鋭意努める



旭森公園トイレの 水洗化を求めて

問 旭森公園トイレの水洗化は地域住民の願いであり、公園附近の待望の



松本 忠男

下水道の完成、事業の順番待ちで長年待っている。中山道を訪れる人々のためにも、次年度実現について問う。

答 旭森公園のトイレは、建物自体が老朽化し建て替えを予定している。中山道を訪れる方々にも配慮し中山道に面した位置に建て替えたいと考えている。

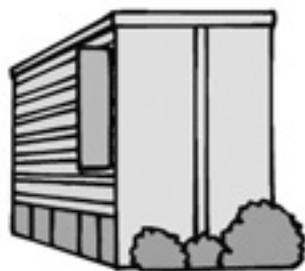
限られた予算の中での整備となるが、国の支援策などを注視しながら、出来るだけ早い時期に予算化を図っていききたい。



出来るだけ早い時期に予算化



水道部と下水道部を 統合しては



問 県下では上下水道部が多いのでは。また統合した時のメリットは。

答 県下では、本市以外の市町は上下水道の部門

矢吹 安子

が何らかの形で同じ組織になっている。メリットは手続きが同じ場所ですることから市民サービスの向上が図られ、また管理部門の統合による人員の削減、未収金対策では両方の債権を扱うことが可能になる。

問 本市も統合すべきと思うが。

答 市民の利便性や事務処理の効率化等から同じ所で事務を行うことが第一であるが、まずは組織統合に向けた具体的な検討を進めていく。



組織統合に向けた検討を進めていく



TPPには「参加反対」の 要請を

問 TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）は、例外品目を認めず全品目の関税を撤廃しようとする協定であり、これが締結されると、食料自給率も14%になり、米の生産量も90%の減など農業はもちろん国土と社会を壊すことになる。関係団体とも協力し、「参加反対」を政府に申し入れるべきだ。

答 TPPに参加すれば、

成宮 祐二

輸入は「完全自由化」となり、本市においても米作中心に大きな影響を受ける事が予測されるが、他の産業との関係の中で、考えていく必要もあり、国の動向を注視して行きたい。



全産業を見る必要があり注視したい

安藤 博



▲県から移管の荒神山自然の家

問 条例の別表で「宿泊室使用料」と「宿泊室以外の施設等使用料」を定めている。市外団体の使用料の二分の一で、市内

Q 荒神山自然の家の使用料の考え方は

A 次世代育成の観点と市民を優先した

問 団体の使用料を設定しているが、その考え方は。
答 次世代育成の観点から市内の児童・生徒には出来る限り安価で利用してもらいたい思いと、市民を優先する事を使用料設定の基本とした。
問 大人の宿泊を想定した場合、現有のベッド改修が必要と考えるが見解を求める。また、指導棟も宿泊施設として利用できないか。
答 他施設を調査し検討したい。指導棟も利用状況をみて検討する。

議会改革特別委員会中間報告

10月29日・11月15日開催

予算特別委員会の今後のあり方について

予算特別委員会の委員数を、委員外議員の予算とのかかわりからどうするかについて協議し、本会議でも質疑の機会はあることから現行のとおりとなりました。

議会基本条例について

現在の委員の任期中の作業目標到達点を設定すべきであり、また、作業部会やプロジェクトチームのような諮問機関を設けて議論すべきとの意見があ

議員研修について

先駆的な議会の議長や全国の事例等の情報を持っている編集関係者による講演などの案が示されたが、対応について委員長一任となりました。

り、そして、正副委員長および正副議長からは、今年度の作業で、条例の骨子・たたき台までは作るべきとの意見も出されました。
 その後の検討で、各会派から1名ずつの5名によるプロジェクトチームを作り、協議を進めていくこととなりました。

ほかにもこんなことを質問しました

- ☆地域内生物多様性保全策について考える
- ☆「ゴミ屋敷」対策について考える
- ☆彦根屏風購入原点に関連して
- ☆議案第83号一般会計補正予算について
- ☆道路河川整備について
- ☆新たなる行財政改革について
- ☆地域福祉支援体制について
- ☆いじめ自殺根絶への取り組みについて
- ☆男女共同参画計画の策定について
- ☆福祉・医療・介護の負担は重くないか
- ☆住みよい彦根、安心できる彦根にするために
- ☆「夏休みの繰り上げ授業開始」に対する保護者からの疑問
- ☆食育推進について
- ☆「(仮称) 荒神山自然の家」について
- ☆景観向上と安全で快適な公園整備で集客を

- ☆荒神山周辺の鳥獣被害について
- ☆公共交通の充実を願って
- ☆成人T細胞白血病(ATL)の感染防止について
- ☆市道大藪金田線と野瀬川周辺について
- ☆公金の管理および運用について
- ☆下水道使用料の徴収漏れについて
- ☆滋賀県の低炭素社会づくり推進条例(素案)に関して
- ☆「子どもたちのSOS」について
- ☆荒神山のイノシシ・サル被害について
- ☆議案第83号平成22年度(2010年度)彦根市一般会計補正予算(第6号)のうち農業体験活動支援事業(田んぼアート)について
- ☆彦根市荒神山自然の家の運営について
- ☆安心して子育てができる彦根市に

決算特別委員会（10月25・26日開催）審査報告

審査 平成21年度彦根市各会計歳入歳出決算について

主な質疑

【一般会計歳入】

- ・各分野にわたる収入未済への組織としての対応
- ・市税徴収で、不納欠損額の増加、訪問徴収強化にもかかわらずの実績減少、給与と預金の差押えの状況、経営戦略会議での取組
- ・社会福祉費負担金の大口の不納欠損処理、保育料等の負担金の徴収方法・滞納者を減らす利用制限
- ・城山・博物館観覧料の確保、市営住宅家賃の催告、駐輪場の稼働率、し尿処理手数料の訴訟も含めた対応、不納欠損の経過など

【一般会計歳出】

- ・議会費での執行残の状況、政務調査費の額の妥当性
- ・総務費でのひこねつとに関する構築委託料と関連機器保守委託料の内容、緊急雇用対策と正規職員の関係、高効率給湯器設置補助金の執行残
- ・民生費での福祉保健センターの洗面台自動水洗化工事の見込み、生活保護費の増加、緊急通報システムの運用状況、保育士の必要な確保ができなかったことによるサービス提供との関係
- ・衛生費での特定不妊治療費助成事業の利用状況と効果、ごみ焼却場の高額な経費の内容、簡易生ごみ処理普及委託料の不用額、清掃センターの搬入ルート変更工事の事故繰越
- ・農林水産業費での近江の園芸特産チャレ

ンジャー事業の実績確認状況、林業振興費の助成金に対する評価・検証

- ・商工費での住宅リフォーム促進事業補助金の不用額、企業誘致に関する力の入れ方と景気の活性化との関係、プレミアム商品券の経済効果、神上沼の草刈り委託料が前年度比で高額な理由、商工振興費の貸付金に代わるものの有無
- ・土木費での河川愛護事業の考え方、大堀山のり面崩壊対策工事の事故繰越、防火水槽の設置状況
- ・消防費での非常備消防経費の報酬等の金額と消防団員の充足状況、備品の購入に係る入札状況
- ・教育費でのスクールランチ委託事業費が減少している原因、学校給食地場農畜産物利用拡大助成金の計画内容と不用額が出た理由、旧彦根藩松原下屋敷庭園保存推進事業の公有地化の進捗状況
- ・公債費での額の妥当性と利子 など

【特別会計】

- ・国民健康保険料における収納率の低下、未収金の回収努力と効果
- ・休日急病診療所事業での受診者に占める子どもの割合が多いことに対する分析
- ・介護保険事業での高額医療合算介護サービス費が補正で計上されながら未執行となった理由、宅老所の整備運営事業の計画の進捗状況、成年後見制度の実績
- ・後期高齢者医療事業での保険料の未収金の増加と対策、担当課の体制 など

討 論 賛成・反対それぞれの立場から討論あり

採決結果 賛成多数で原案のとおり認定

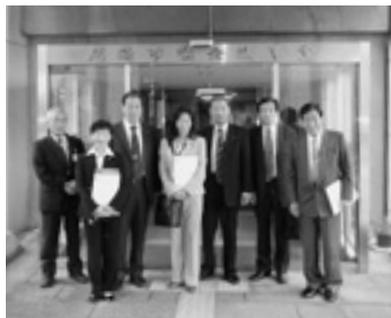
議会運営委員会視察報告

平成22年11月27日・28日 三田市・尼崎市

本委員会では、まちづくり基本条例、議会改革および議会運営全般について先進地の行政視察を行いました。

三田市では、「まちづくり基本条例検討委員会」において、市民、議会、行政の三者がそれぞれ作成した条例の骨子案を踏まえた条例を策定するため、議論をされています。議会では、「まちづくり基本条例検討特別委員会」を発足し、委員会をのべ24回開催するなど議会の骨子案を作成するため議論を尽くしてきました。市民、議会、行政の三者の骨子案の相違点としては、すでに策定されている「まちづくり憲章」に対する条例の位置付け、お金と権限を地域自治区・地域協議会におろすのかどうか、条例の最高規範性をどうするか、などがあるとのことでした。

今回訪問した三田市、尼崎市は、市の特色を生かした市民が主役の協働のまちづくりを実践するため、それぞれの市が独自の施策を展開され、今後の本市の議会運営を行う上で大いに参考となるものでした。



子ども議会開催

子ども議会を開催しました

市民に対してより積極的に開く議会、市民に身近な議会を目指す取組の一環として、11月13日に子ども議会を開催しました。

この子ども議会は、彦根市の未来を担う小学校の児童に、彦根市の将来に対する質問や提案をしてもらうこと等を通じて、議会制民主主義を体験的に理解し、政治への関心を深めてもらうこと、また、議場での傍聴を通じて、市議会をより身近なものと感じてもらうことを目的としたものです。

当日は、市内17小学校から6年生各2人の合計34人の子ども議員から、「彦根市政について」の議題に対し、子どもたちの視点で、本市の将来に対する質問や提案がありました。

その内容は、環境、福祉、観光、教育等、市政全般にわたるものであり、市長をはじめ、副市長・教育長・各部長から答弁がありました。

会場には、多くの方々に傍聴にお越しいただき、子ども議員が熱心に発言する姿や議会の雰囲気、行政の組織の一端を感じていただけるとなりました。



子ども議会の詳しい内容については、市議会ホームページに掲載予定ですので、ご覧ください。

子ども議員質問・提案概要

小学校	氏名	質問・提案内容
城西	杉本 安美さん	通学路の改善について
若葉	平塚 彩花さん	彦根城のバリアフリー化について
金城	徳満 俊介さん	彦根駅前にレンタサイクルを
城南	北村 彩奈さん	みんなが利用しやすいように地下道の坂をゆるやかに
旭森	三浦 有樹さん	学校の図書室を地域に開放することについて
稲枝東	岡 宏淳さん	プールの底をきれいにすることについて
城陽	坂口 芽衣さん	琵琶湖岸の漂流物の整備について
平田	村田 大河さん	彦根市は、なぜ人権宣言都市なのか
城東	入江 優さん	目の不自由な人のために信号機に音をつけ、溝に蓋をつけては
稲枝西	村田 奈穂さん	学校のトイレを明るくきれいで、広く、洋式のあるトイレに
平田	西山 秀明さん	彦根市でのゲリラ豪雨の対策は
城北	磯島 琉衣さん	地球環境や節約のため、市で決まった時間に電気を消せばいいのでは
佐和山	磯部 海斗さん	彦根駅周辺の活性化について
旭森	松波 風夏さん	銀座商店街の空き店舗を利用し、郷土資料館をつくっては
高宮	吉川 華恋さん	車いす専用駐車場に一般の人が車をとめないように呼びかけを
城陽	藤岡 奈々さん	彦根に「道の駅」をつくっては
亀山	奥村しずくさん	彦根城を通るバスの絵柄をひこにゃんにし、決まったバス停でひこにゃんが乗客を出迎えては
鳥居本	中村 文紀さん	太陽光発電による街灯や廃材で製作したごみ箱の設置について
金城	村木 裕哉さん	彦根城が世界遺産になるための彦根市の取り組みと問題点について
稲枝西	富江 涼太さん	学校の教室にエアコンをつけては
河瀬	藤野 凜さん	釣り客のマナーの向上（ごみの持ち帰り）について
城南	村長 育帆さん	彦根市の景気、経済はどんな状況にあるか
城北	澤頭めぐみさん	道路に自転車専用の車線があると便利では
河瀬	竹内 遼太さん	今後の観光アピールについて
高宮	馬場 好美さん	彦根城の駐車場を無料にするか、駐車場利用者に記念品を贈っては
稲枝北	山田 由稀さん	稲枝駅を利用しやすい駅にすることについて
城西	若林 美織さん	中学校給食の実施について
稲枝東	山本 蘭さん	稲枝にいろいろな遊具や広場がある公園をつくっては
佐和山	水谷 若菜さん	税金の使われ方について
亀山	久木 汐菜さん	子どもセンターの近くの大きな丘に大すべり台をつくっては
鳥居本	西本菜々子さん	彦根市の公園に遊具を増やしては
若葉	中居 蒼士さん	琵琶湖の外来魚を減らすために外来魚の釣り大会を
城東	吉川 晶子さん	みんなが使える楽しい図書館づくりについて
稲枝北	吉田 清乃さん	琵琶湖をきれいにするためにヨシを育てては

常任委員会 視察報告

市議会では、各委員会がその所管事項について、より深く調査研究し、本市の施策や市政運営に寄与することを目的に、全国の先進都市を訪問し調査研究する視察研修を行っています。今号では、10月に実施された4常任委員会の視察状況について報告いたします。

総務常任委員会

本委員会では、職員の政
策形成能力を高めるための
取り組みをされている戸田
市、都市を経営するという
視点に立った行政改革を進
める相模原市、「自治基本条
例」と「議会基本条例」を
策定されている多摩市の行
政視察を行いました。

戸田市の「戸田市政策研
究所」は、副市長を所長と
した7名体制の自治体シン
クタンクで、必要に応じて
研究員を任命し、プロジェ
クトチームを設置されます。
研究所の組織・運営面での
特徴は、内部設置型、常設
型、ブレイン型の自治体シ
ンクタンクであり、兼務研

究員による研究体制をとっ
ていることです。

相模原市は、市民に身近
なサービスの向上と個性豊
かなまちづくりを進めるた
め「市民とともに都市を経
営する」という視点にたっ
た「さがみはら都市経営ビ
ジョン」を平成17年に策定
されました。成果主義、顧
客主義、市場主義の3つの
視点に基づき、現在は、平
成22年度から3年間の新し
いアクションプランに取り
組まれています。

多摩市は、平成16年に市
民の発案による「多摩市自
治基本条例」を施行され、
条例には、自治の推進にか
かわることを自ら調査研究
して提言できる自治推進委
員会が設置されています。

また、本年には議員自らが
起草した「議会基本条例」
を施行され、今後、議会報
告会を行っていくとのこと
でした。

3市のそれぞれの取り組
みは、政務調査能力の向上、
民間活力の導入、住民参加
の促進などの実践例であり、
大いに参考になりました。



市民文教常任委員会

市民文教常任委員会は、
「給食事業の諸課題の解決
策」および、「中学校給食実
施上の問題解決策」、「低炭
素社会宣言をした彦根市が
環境負荷を減らす方策」の
探究を目的に、10月5日か
ら7日までの3日間、北九
州市、久留米市、日田市、
別府市の4市を5テーマに
わたり、視察調査をしまし
た。

久留米市では、給食調理
法をセンター方式から自校
方式に切り替える一方、な
ぜ、大規模な給食調理場が
建設されたのかという疑問
や、調理業務を民間に委託
しているが問題はないのか
ということが、視察先を決
めるきっかけになりました。
調査で判明したことは、給
食センターが老朽化し、食
育の観点から自校方式に戻
したことで、別の給食センタ
ーは中学校給食を実施する
ため建設し、財源の多くは
合併特例債を活用している
こと、調理の民間委託につ
いては地元業者への配慮が
され、地元の農産物は84品

目中、61品目使用するなど
の努力が見られました。

北九州市では、市内全62
中学校2万4500食の完
全給食を親子方式で実施す
る経緯について調査しまし
た。

親子方式とは、小学校の
給食施設を使って中学校の
分を調理し、搬送する方式
です。初期投資を含めた運
営経費が、センター方式に
比べ、格段に安くあがる利
点があります。また、共同
調理場となれば、法的には
工場と見做されるのでは、
との疑問も払拭されました。
さらに、北九州・日田・
別府の各市の「環境日本一」
を目指し、環境負荷を少な
くする具体的取り組みは、
今後の活動や提言に参考と
なる視察でした。



福祉病院常任委員会

唐津市では、子育て不安を解消するため、市の情報提供などの事業を、NPO

法人唐津市子育て支援情報センターに業務委託されています。このセンターでは相談や情報提供を毎日午前9時から午後10時まで実施されており、市から受託されている事業としては、生

後3ヶ月からの子どもを対象に、緊急に送迎や託児を行う緊急サポート事業を午前6時から午後9時まで（最大利用時間）の年中無休で実施され、昨年度の利用者数は1,847人でありました。また、病後児保育は、生後3ヶ月から小学6年生を対象に、平日のみの利用で午前8時から午後5時半までとなっていて、1,077人が利用されています。

武雄市では、食育事業として、6事業が展開されています。このうち、小学生家族を対象にした種まきから収穫までの農業体験・親子クッキング、中学生による「にんじんを使ったレシピ」の開発。残しておきた

い昔のおやつやレシピ作りなど農水省のモデル事業にも指定されています。さらに地産地消も取り組まれています。

尾道市の公立みつぎ総合病院は、黒字経営の病院であり医療圏域の人口は7万人。22診療科の病床数は240床、職員数607名での運営です。経営努力として、訪問診療や出前講座も開催されています。

一方、保健福祉総合施設として317床を経営し、主な施設として、介護老人保健施設、特別養護老人ホームやリハビリテーションケアハウス、グループホームなどであり、保健・医療・介護・福祉の連携した「寝たきりゼロ」を目指されています。



産業建設常任委員会

前橋市では、240箇所を超える停留所を設置し、1回の利用が大人200円、中学生以下100円、時刻

も路線も定めず、電話で乗りたいバス停、降りたいバス停、人数の予約をし、バス停に呼び出すデマンドバスを平成19年1月から本格運行されています。月3千人以上が利用され、外出機会が増大したとの声も多くありました。

新発田市では、「食料供給都市」を将来都市像に掲げ、食と農を重視したまちづくりを展開されています。地元で生産されたものを地元で消費する「地産地消」だ

総務常任委員会 10月4～6日
埼玉県戸田市
戸田市政策研究所について
神奈川県相模原市
さがみはら都市経営ビジョンについて
東京都多摩市
議会基本条例と自治基本条例について

市民文教常任委員会 10月5～7日
福岡県久留米市
学校給食事業について
大分県日田市
環境都市日本一を目指した関連事業の推進について
大分県別府市
環境・健康にかかわるONSENツーリズムについて
福岡県北九州市
中学校給食実施の状況について
環境モデル都市づくりの取組について

福祉病院常任委員会 10月12～14日
佐賀県唐津市
子育て支援事業について
佐賀県武雄市
五感を使った食育体験プログラム推進事業について
広島県尾道市
病院経営全般について

産業建設常任委員会 10月12～14日
群馬県前橋市
ふるさとバス運行事業について
新潟県新発田市
食の循環によるまちづくりについて
新潟県長岡市
グリーン・ツーリズムについて
農の駅あぐらって長岡の取組について



けでなく、消費者に求められるものを生産する「地産地消」という消費者の視点に立ち、土づくり↓栽培・収穫↓加工↓販売↓調理↓食事↓残渣処理↓肥料づくりに、食の特徴をつながり得とらえ、重点目標や取組を絞り込み、食の循環によるまちづくり条例を平成20年12月に制定し、地域の活性化と市民生活の質の向上を

目指されています。長岡市では、農村地域で、自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動（グリーン・ツーリズム）の普及に取り組みされており、一度に200人程度までの学校の体験旅行の受け入れもされています。また、グリーン・ツーリズム推進拠点の一つとして、ふるさと体験や農業体験の機会を提供する「農の駅あぐらって長岡」が設置され、数多くの体験活動を実施されています。

議場コンサートを開催しました

市議会では、会派を超えた議員有志による議会開放推進プロジェクトチームを組織し、市民に開かれた議会づくりを進めています。

その取組の一環として、11月定例会開会日の11月29日(月)に第9回議場コンサートを開催しました。

今回は、女声合唱 彦根水すましの皆さんをお招きし、「通りゃんせ」、「あんたがたどこさ」、「ていんさぐぬ花」など国内外の童謡や民謡と、「ジングルベル」、「きよしこの夜」などのクリスマスソングにアンコールを含めて11曲を30分にわたって合唱していただきました。



議場には、多くの方々にお越しいただき、さらにはメンバーの呼びかけに応じて一緒に歌って歌っていただくなど楽しいひとときを過ごしていただきました。



第10回

議場コンサート(予定)

日時 平成23年2月28日(月)
13時から

場所 彦根市議会議場(市役所5階)

出演 コーラスやまびい

内容 女声合唱

曲目 調整中

その他 詳細は広報ひこねやホームページでお知らせの予定です

次の定例会は
2月です

11月定例会は延べ13人が傍聴



本会議の日程(予定)

開 会 2月28日(月)
代表質問 3月7日(月)
個人質問 3月8日(火)
閉 会 3月9日(水)
3月22日(火)
いずれも9時から開催予定

委員会の日程(予定)

予 算 3月10日(木)
3月11日(金)
3月14日(月)
3月15日(火)
3月16日(水)
3月17日(木)

◆印の委員会は14時から、それ以外は9時から開催予定

◆市民文教 3月17日(木)

◆産業建設 3月16日(水)

◆福祉病院 3月15日(火)

◆総務 3月17日(木)

彦根市のキャラクターである「ひこねちゃん」には、今年も数多くの年賀状が全国各地から送られてきました。この年賀状は、国内だけでなく、イギリスや台湾などの海外からも届けられ、もはや世界レベルの人気となっています。また、昨年は、ひこねちゃんファンクラブが発足し、彦根市へのふるさと納税により、ファンクラブ会員が急増しています。

更にこうした状況に加え、戦国武将・浅井氏の三姉妹を取り上げた今年のNHK大河ドラマ「江」の放映により、ゆかりの地である滋賀県、そして彦根市にとって観光客の増加が大いに期待されるところです。

ひこねちゃんファンや歴史ファンなどで、今年も彦根がにぎやかになれればと願っています。

編集後記

※ひこね市議会だよりは再生紙を利用しています。